

校内で育てた大豆「実った」

久々野小児童が収穫



大豆を収穫する児童たち＝高山市久々野町
久々野、久々野小学校

高山市久々野町久々野の久々野小学校で、3年生28人が、春から校内の畑で育ててきた大豆を収穫した。

毎年、JAひだ女性連絡協議会久々野支部の指導で大豆を栽培。今年も5月に種まきし、台風21号の影響で

倒れた時も、茎を起すなどして世話してきた。

同協議会の矢鳥生子会長から「種まきから長い時間かかって、ようやく収穫の日を迎えました」と説明を受けた児童は、農作物を育てる苦勞を改めて実感。収穫作業では、しっかりと根を張った大豆を、力いっぱい引き抜き「やったー」と誇らしげに掲げていた。来年1月には収穫した大豆などで豆腐を作る。活動は、大豆の栽培や加工を通じて、食と農業に理解を深めてもらおうと、JA岐阜中央会などが取り組む「まめなかな運動」の一環。(大成朋広)